

戸定が丘ニュース VOL. 2



みんなで秋の戸定が丘に行こう！！

いよいよ、秋のイベントシーズン到来です。
千葉大学園芸学部の学園祭(戸定祭)をはじめ戸定邸での音楽イベントなどなど楽しさ盛りだくさん…

秋のイベント予定 ★有料イベント

実施予定日	イベント名	開催場所	問合せ先
10/30～11/14	戸定菊花祭	戸定邸	戸定歴史館 362-2050
11/5	戸定音楽プロジェクト (サクソフォン演奏)	戸定邸庭園 AM11時～ 千葉大フランス庭園 PM1時半～	★戸定邸庭園のみ戸定邸 入館料が必要です。
11/5～7	戸定祭	千葉大学園芸学部	千葉大園芸学部専門職員 (学生生活担当) 308-8715
11/6、7、10	CAFÉ 甲冑 ★	歴史公園内「松雲亭」	まつどインフォメーションデスク 0120-18-9910
11/13、14、27、28	季節の茶店 ★	同上	
11/27・28	緑の回廊ツアー ★	歴史公園～千葉大学園芸学部	松戸観光協会 366-7327
12/9	千葉大学園芸学部 第2回国際シンポジウム	千葉大学園芸学部合同講義室 ～環境園芸学の地域社会への貢献 の現状と展望～	国際シンポジウム実行委員会 山口 308-8725



来る、11月5日(金)～7日(日)千葉大学園芸学部にて戸定祭(大学祭)が開催されます。学生達の日頃の研究成果の発表や留学生によるお国自慢の模擬店、苗木、ジャムの即売、その他色々なイベントがあります。

また、5日は、戸定邸庭園と千葉大フランス庭園で庭園音楽が開催されます。回廊門(通用門)が開放されておりますので、お祭りとお音楽の両方を楽しめます。※通用門は、11月5日～12月19日までの期間でAM9:30～PM4:30の開放です。(但し、11月20日、21日は除きます。)

千葉大学園芸学部庭園の散策では、事務棟に立ち寄り散策許可を得て下さい。

※ 問い合わせ先 庭園音楽(戸定歴史館 362-2050) 千葉大園芸学部庭園散策許可(園芸学部専門職員 学生生活担当 308-8715 へ)

皇太子殿下のお成り

千葉大学園芸学部(以後「園芸」と略)には皇族方が何度もお出ましになっています。最初に皇太子が行啓された記録を見ると「時や初夏、樹陰緑滴らんとする明治44年5月24日、皇太子殿下には千葉県視察の途次本校に行啓され・・・」となっています。そして「先生や生徒一同は数日間、日夜整理清掃、花壇の植え替え、温室の充実装飾、校内にチリ一つ留めず・・・」とあり、粗相のないよう大変気遣ったようです。ところが当日全員整列してお迎えしているうち「九天俄かに黒雲に覆われ雷鳴、大雨沛然、人みな天を仰いで嘆息したが、到着1時間前に紫電一閃して晴れ上がり碧空再び現れ・・・」と書いてあります。いかに緊張してお待ちしていたか良くわかります。皇太子は午後2時到着、同40分にお帰りだったそうです(皇太子は後の大正天皇)

その次は、大正15年10月28日です。このときは大正8年にできた陸軍工兵学校(現聖徳大など)視察後、園芸に行啓されたのでした。午前9時35分松戸駅に着かれたのですが、午後から本降りの雨になってしまい、楽しみにされた農場視察は取り止めになって講堂でご進講になったそうです。このときの皇太子は昭和天皇です。

昭和18年10月22日が3回目となります。このときは山梨学院長、川本初等科長引率の学習院初等科4年生45人と一緒でした。皇太子は継宮明仁親王で現在の今上天皇です。皇太子ご一行が園芸にお成りの話は前に父から聞いていました。当時父は町議会議員だったので知っていたのでしょう。因みにこの年の4月1日に松戸町は市になりました。10月22日は前日まで雨だったのに早朝から止み、「学生の一部は朝早くから登校して、工兵学校から本校への坂道通過に支障のなきよう道路を清掃し・・・」と記録されています。皇太子ご一行は8時30分松戸駅着、工兵学校を1時間視察後、園芸には9時30分から0時45分まで滞在されたのでした。皇太子は新庭園(イリス風景式庭園)の芝生でご学友と一緒に農林1号という品種のサツマを掘り、茹でてもらって食べたそうです。芝生の庭園でサツマを掘りという怪訝な気持ちになるかも知れませんが、昭和17年～18年当時は芝生は贅沢と指摘され、芝を剥がして任を植えさせられたのです。

私は、皇太子行啓の翌19年に入学したのですが、当時は全寮制で一室15畳に5人ほど配置され上級生が寮長、副寮長などの役目をしていました。上級生下級生という間柄ではなく、兄弟みたいな雰囲気でも何でも話してくれました。特に皇太子の件では「あれは忘れられない、いいときに在学したもんだ」とよく話したものです。

「任を掘る跡は皇太子だけが真新しく、覚束ない手で握っていたから俺と一緒に手を添え、グッとやると任が出てきたらワッと声出して喜んだねえ」「皇太子はかわいい坊やでねえ、とても楽しそうだったなあ」「任を両手に持って口一杯頬張って、ゆっくりモグモグと食べていたなあ」「そうだ、殿下は上品にゆっくりゆっくり食べていたねえ、味を楽しんでいたのかなあ」「俺は朝下着から全部洗ったのを着て来たが、皇太子は何ともいえない品のいい匂いがしていたのを覚えているよ」「そういえばそういう覚えが残っている」などと話は何度も聞かされました。任掘りを手伝った学生は寮長ら数人で、他の学生は別の授業をだったそうです。

皇太子ご一行が工兵学校から園芸に来るには地獄坂を下り、陣屋口を通るのですが、そこには大きな肥溜めがありとても臭く閉口しました。私の通学路なので毎回駆け足で通り過ぎたものでした。この臭い道を皇太子は駆け足ではなく、ゆっくり歩いて通ったに違いないと思うと、自然に笑みがこぼれ親近感がまた湧いた気がします。

◆◆◆ 一口メモ1 ◆◆◆



A棟横の記念碑

知っていましたか? 情熱の歌人「与謝野晶子」と千葉高等園芸学校(現 千葉大学園芸学部)の関わりを・・・

大正13年、歌人と謝野晶子が松戸市を訪れ、その時の印象を「松戸の丘」と題した歌をはじめとした60首の歌に残していました。

この内、記念碑には次の2首が刻まれています。
 ・丘の上 雲母(きらら)の色の 江戸川の 身ゆるあたりの 一むらの豊粟(けし)
 ・うすものの 女の友を 待ちえたる 松戸の丘の ひなげしの花
 また、この2首の短歌をもとに本会の副会長である石上さんが作詞、作曲と歌は松戸市出身の上條操さんの音楽CD「誰も知らない」が制作されています。音楽CDの問合せは、389-1977 石上へ

◆◆◆ 一口メモ2 ◆◆◆

11月6～7日は、松戸駅近くの聖徳大学でも学園祭(聖徳祭)が開催されます。

当日は、栄養士のたまごたちによる数量限定ランチ・ケーキの販売や、野外ステージで行われる華やかなステージ発表(バトン・ダンス・ハワイアンダンス等)など、特色ある企画があります。

皆様も、是非 戸定が丘に

『来て、見て、感じて!』

★ いよいよ紅葉シーズン到来です。



シティガイドさんからのコメント
「おもてなしの心」をもって、笑顔でご案内いたします。特に秋の紅葉はお勧めの是非お声を掛けて下さい。色々な人との出会いとお客様の笑顔が私共の活力です。

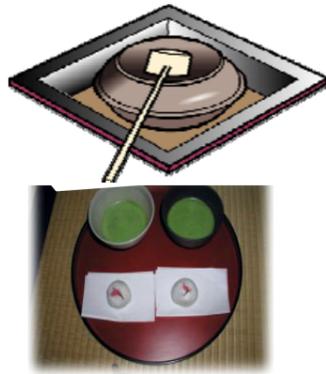
写真は、ベテランガイドの染谷さん(写真左)・斎藤さん(写真右)

『季節の茶店』

歴史公園内の「松雲亭」で抹茶と菓子を食べながら、古の余韻に浸りませんか？また、お茶に関する作法など、ほんの少し学んでみませんか？

開催日時 11月6日、7日、10日、13日、14日、27日、28日 何れも午前10時～15時

費用 500円
各日とも先着 100名限定。
申込 まつどいフォーメーションデスク 0120-18-9910 まで



戸定が丘に「ウィーンフィルメンバー」がやってくる。世界最高峰の音楽と触れ合うチャンスです。



10月1日広報まつどでも紹介されておりましたが、今年は、徳川昭武没後100年にあたります。そこで戸定歴史館では「戸定アートプロジェクト2010」としてウィーンフィルメンバー3人とFog陽子による、ウィーンピアノ四重奏団を戸定邸にお招きし、市民と共に楽しむ国際交流の集いが行われます。

これは、戸定邸を建てた徳川昭武は1867年パリ万国博覧会に実兄の將軍慶喜の名代として参加し、明治になってからも、パリで2度目の留学を果たしています。わが国の国際交流のさきがけとなった徳川昭武が亡くなって今年100年になります。

日本文化に造詣が深いメンバーは没後100年のメモリアルと聞き、多忙を極める演奏活動の合間を縫って参加して下さることになりました。

日時 10月22日(金)午後1時30分～

(注意) 会場となる戸定邸表座敷棟への入場申込みは、すでに終了しておりますが(10月7日まで往復葉書で申込み後抽選) 庭園からの参加は申込みが必要ありません。

問) 戸定歴史館(電話 362-2050)へ